

# 北九の仲間

2016. 6. 15 No.1267

自治労連北九州市職員労働組合  
編集発行 重野 幸介  
北九州市小倉北区城内1番1号  
TEL 093-582-4181 FAX 582-4183  
Eメール jhokuq@jhokuq.jp



7月10日・日本の未来を決めるのは私たち

## 日本の未来を決めるのは私たち

### 参院選では戦争勢力にストップを

#### 参院選特集号

参議院選挙の投票が7月10日に決まりました。衆参W選挙は無くなりましたが、今回の選挙は、憲法違反の戦争法を廃止させ、失敗続きのアベノミクスの是非を問い、どう憲法と暮らしをまもるのが最大の争点でたたかわれます。子や孫をそしてパートナーを戦場に送るのか否か「未来を決めるのは私たち」です。政党支持の自由・政治活動の自由を追求・要求しながら、参院選を取り組みましょう。

今夏たたかわれる参院選の22日公示、7月10日投票が決まり、選挙戦がスタートしました。今回の参院選では「戦争できる国」づくりへ戦争法で暴走する政権で良いのか、大企業・大株主には史上最高の利益をあげ

戦争法が最大の争点としてたたかわれる参院選では1200万筆の「戦争法廃止」署名と世論の力で、与党が独占している32の1人選挙区では、4野党と市民共同の統一候補が全ての選挙区で実現し与野党一騎打ちの状況を作り出しました。また福岡

#### 署名で世論を味方に

重要な選挙となります。

選挙区では与野党が分け合っていた2議席から3議席に増え、戦争法廃止の勢力が議席を確保するかが大きく問われています。全国で福岡で戦争勢力にストップをかけ参院選で戦争法廃止を実現させましょう。



#### 憲法遵守は責務です

戦争法施行や改憲に突き進む戦争勢力には、現職の国会議員がいますが、天皇・国会議員を含め公務員には「この憲法を

#### 公務員も選挙活動の自由は憲法で保障された権利です

選挙のたびに「職員の政治的行為の制限等について」の通知が出されるが、労働組合では、「地方公務員の選挙・政治活動の自由は憲法で保障された権利」の一環であると考えています。



政治的行為が制限されるとする根拠は「地公法」第36条のことですが、36条の制約は勤務する行政区域内のみの適用であり、組合活動の一環として行う活動は自由など、36条の規制はきわめて狭い範囲の制限で、一切の選挙活動ができない訳ではありません。

尊重し擁護する義務を負う」と憲法99条に明記されています。もつとも憲法を擁護すべき安倍首相が、「改憲」を公言し強行することは、憲法違反の暴走行為と言わざるを得ません。市職労として政党支持の自由・政治活動の自由を追求し要求します。戦争法廃止の署名は選挙期間中でも組合活動としてできます。明文改憲へと暴走を繰り返す安倍政権の戦争法廃止を求める行動は「憲法を尊重し擁護すべき」公務員としての責務ではないでしょうか。

#### つぶやき

今度の参院選「誰がなっても同じ」「どうせ決まっている」と理由をつけ棄権するという声を聞きます

が棄権は危険◆参院選は「平和か戦争か」「子どもたちの未来がかかった」選挙、また18才の高校生にも選挙権が付与された最初の選挙です。住民の命と暮らしを守るべき自治体職員の棄権は無責任で危険な行為です◆特に選挙事務を行う職員の棄権は、職務放棄に等しい悪行と言わざるを得ません。あなたの1票が未来を決める(赤子)

# 夏の交渉で切実な声を届け 秋の確定につなげよう

今年の夏季闘争は昨年までとは違い、昨年秋季の交渉で当局が冬・夏の一時金の支給割合、夏季休暇を提示したため、一時金の支給割合、夏季休暇の交渉を行わないと、言っています。しかし、一時金は生活補給金であり、一時金の加算改善や減額制度の撤廃、再任用、嘱託員の一時金を正規と同じにすることなど、6月7日に要求書にまとめ提出しました。また、今年の夏季闘争は「人員体制・職員の健康増進」に関する要求についても職員の切実な要望として、改善を求め交渉を進めます。

## 困ったことは市職労に

今、各職場では人員、時間外の削減が行われています。しかし、現場では、仕事量が増え、休みも取りづらい状況なのに、当局は業務を見直し、仕事のアウトソーシング(指定管理者や外部委託化)を行うことで、目標を達成させようとしています。現場からは、「これ以上どこを見直ししたらよ

いのか?」との声も上がっています。

人員問題は、早め早めに声をあげ行動を積み重ねていくことが重要です。区役所では、窓口案内業務を委託していますが、来庁者が困らない人員が確保されていますか?

17年度の予算要求は7月がヤマ場です。人員、臨職の配置など職場で困っていることは、どんな些細なことも市職労に要求・要望として上げてください。

臨職は16年度採用分からは試験による名簿登載者の中から採用することになり、現場では確保が困難との声があがっていました。市職労では当局に対し、臨職確保を容易にするためにも、臨時的な募集が必要であることを要求し、6月3日任用分から「名簿登載者から任用できない場合については、追加募集を行える」ことになりました。



## 非正規の改善を

最近の世論調査で、12年12月の第2次安倍政権のアベノミクスで、給与などの収入が増えたかとの問いに対し、実感がないが85%に上がり、安倍政権は、世論に押され経済界に賃上げを求めましたが、収入増を実感した人は13%にとどまっています。一方、経済格差が広がったと感じた人は36%で、主な原因を非正規労働者の増加だと答え、格差是正には、非正規労働者の待遇改善が必要だとする人が45%に上がっています。

また、社会保障制度で充実すべき分野として、「年金制度」「少子化対策」「介護保険と医療保険」が上位3位を占めました。

市職労は今後、夏の交渉で一時金や人員問題を含めた労働条件改善を追及するとともに、秋の賃金交渉での前進をめざします。

夏季闘争に併せて、人事院や人事委員会への要請署名の取り組みを行います。職場のみなさん一人のものもなく協力よろしくお願いします。

6月4〜5日に広島で行われた、自治労連青年部主催の「自治体で働く青年のつどい」に市職労から2人の青年が参加しました。このつどいの目的は、「戦後70年をむかえ、被爆者から戦争体験を聞く。」でした。

## 体験者の生の声

1日目は、「70年を経て今思うこと」と題して5歳の頃に被爆された自治体OBの方の話でした。原爆により、両親と死別したこと。8月6日原爆投下の候補に挙げられていたのは他に3都市あり、京都、新潟、小倉。京都は重要な文化財があり壊れ

# 第31回自治体にはたらく青年のつどいin広島 被爆者から戦争体験を聞く

たかない。新潟は都市規模が小さく原爆の威力とその後の研究が得られない。小倉は基

などの話がありました。

## 今私たちがすべきこと

2日目は分散会。1日目で聞いた話から戦争が起きた時をイメージし、すべきことをグループ討議。修学旅行生に講和を開いても、うまく伝わらないことが増えている。戦争の記憶と風化は着実に進んでおり、戦争経験者たちから生の声を聞ける最後の世代と言われている私たちが、責任をもって次の世代へと受け継いでいかなければならないと感じた。

全体を通して、被爆体験者の話が聞けたこと、全国の青年と交流ができたこと、非常に有意義な「つどい」であったとの報告がありました。



広島自治労連に折り鶴を託しました。

# 国民平和大行進がスタート

## 8・6ヒロシマに向け全国で網目行進も

16年原水爆禁止国民平和大行進が先月6日、ヒロシマに向けて夢の島公園（東京都）をスタートしました。

出発集会では「核兵器の禁止・廃絶を求める「核兵器廃絶国際署名」をこれまでな

進団が到着し、21日に門司から下関に引継がれる予定です。オバマ米大統領は広島を訪れましたが、直ちに核兵器禁止条約を推進する想いはありません。核政策を変更させ「核兵器廃絶・被爆者援護」を訴え1歩でも2歩でも歩きましょう。



### 自治労連共済（組合の保険）

## しつとーとキャンペーン、はじまったよ

先月お知らせした「しつとーと」キャンペーンが6月からスタートしました。チラシを見ていただいたでしょうか。健康だから、保険料が高

保険は退職した後、80歳まで加入できます。現職の時よりも、退職した後に請求が多くなります。保険が本来に必要な年齢になると、保険料がぐんと上がります。途中で病気をしても保険料は変わりません。



いから、手続きが面倒だから、時間がないから、たくさん保険に入っているから、今は必要ないと思っていないませんか。まず、健康だから加入できるのです。でも、いつ病気になるかわからないのに、毎月高い保険料はもつたいたいと思えますよね。そこで、まずはお守りとして、家計に負担をかけない様に毎月990円に抑えた保険を用意しました。

今月から担当者が職場を廻っています。気軽にご相談、お声をかけて下さいね。実際に入っている良い声を紹介しよう組合員の声を紹介します。

月々1,800円位の掛金なのに還元金をそこそこ毎年もらえて、お小遣いをもらっている感じがありがたいです。共済って、ほんとに助け合っていて感じですね(\*\_\*)



9条の会  
今月の6・9行動は鷗外橋から勝山橋へ場所を変えて、「戦争法廃止」の2000万人署名を取り組みました。書記長も参加で、若者が立ち止って署名をしてくれ、もしかしたら若い人の方が敏感なのかもしれないと感じました。◆私たち公務員が二度と「赤紙は配りません！」その思いで署名に取り組んできましたが、この平和への行動が次の世代へと引き継げるように、参議院選挙でなんとしてもこの法律を廃止にするためがんばろうと思えました。◆来月から「核兵器廃絶」の新しい署名に取り組みます。この行動は女性部だけの行動ではありません！多くの方の参加をあらためてお願いします。

### 第374回中央委員会

日時 6月24日（金）  
18時15分～  
場所 生涯学習総合センター  
議題 夏季闘争について

- 6月1日 催しもの情報
- 23日（木）18時～  
【紛争被害者取材して…】  
講師 安田菜津紀氏  
（フォトジャーナリス）  
北九州市立大学（北方）  
主催 福岡県弁護士会
- 24日（金）18時15分～  
【保育所部会新採歓迎会】  
戸畑生涯学習センター
- 7月1日
- 2日（土）10時～12時30分  
【消費者団体連絡会】  
小倉リーセントホテル
- 17日（日）～21日（木）  
【国民平和大行進】  
北九州市通過

ケッチャんの  
秘湯迷湯 189  
そぞろあるき

島根県邑智郡美郷町千原1070

「千原温泉」

(入湯料は5百円也)

☎0855-76-0334



湯は茶色で、この後、右手の手拭いもきれいに染まってきました。

今月もGWの山陰ツーリングの続き。前号の江津の居酒屋田吾作で700円昼定食を食し三瓶山へ。目指す温泉は千原温泉だが、国道375号の道中に湯抱温泉なる標識が。辿りついてみると三軒の旅館。GWなのに全く人影なし。中村という旅館の奥で作業していた親父さんに声を掛ける。どこも入浴は宿泊専用とのこと。よか温泉が隠れているような気がして、後ろ髪をひかれる思いで湯抱を後にする。

国道に戻りJR三江線に沿って県道へ、そして舗装林道を経て千原温泉へ。迷うことはないが車では離合が大変。さて千原、湯抱とはうって変わって1時間待ちの大混雑。GWツーリングその2。山あいのひなびた温泉？ひなびるどころか大人気？の千原(ちはら)温泉

混雑の原因は湯船の狭さ。6人でギリギリ。女将さんが時々様子を見に行つて、少しずつ案内している。庭のツツジを撮ったり、奥の源泉汲場で味見をして暫し待つ。やつと順番。半地下の湯船へ。底のあちこちから湯が湧く。気泡を伴つてぽこぽここと。湯温は34℃とかなり低く、脱衣所に1時間浸かることを奨める張り紙があったが納得。上がり湯に加温した五右衛門風呂に入る。この上がり湯はカーテンで仕切られ男女共用。黙つて入らんごと。

浴後は三瓶山を周遊し本日の宿雲南市のライダーハウス山里(一泊1500円也)へ。

フレデリックの



文化ガイド

6月も半ばとなり今年も早半分経過。夏休みの予定は決まりましたか？私は映画大学(後述)と小田和正コンサート。元気を振り絞つて夏を楽しみましょう！

\*イチオシ・シネマ\*

日本映画で評判が高いのは「64ロクヨン」。後半も上映がはじまり、いまなら前・後編一度に観られます。目下、日本映画はあらゆるジャンルをやっている感じ。出来は不明ですが、雨の日はお好きな映画を観に映画館へどうぞ。

一方外国映画は、小倉昭和館やイオンシネマ戸畑で今年のアカデミー賞受賞作をやっています。昭和館の「キャロル」は見逃していたので有難い！「ブリッジ・オブ・スパイ」と2本立てです。それとシネコン一斉上映中の「ズーピア」もいらしいです。さて、今月のイチオシは、「教授のおかしな妄想殺人」に。大好きなウディ・アレン監督の最新作です。人生の不条理を彼ならではのコメディ

センスで笑わせてくれます。哲学の教授役をホアキン・フェニックスが怪演！シネプレックス小倉のみで上映中。

\*映画サークル情報\*

まず映画大学について。映画鑑賞団体全国連絡会議が毎夏開催している映画を中心とした講座です。今年は初めて北九州映サが事務局となり小倉北区の毎日会館で7月の連休にやります。目玉は仲代達矢。17日(日) 13:45から公開講座として2千円で参加できます。詳細は561-1784へ。

6月はチリ・米・メキシコ合作映画「NO(ノー)」。88年チリで行われた国民投票の実話を映画化。若き宣伝マンがCM広告により軍事政権を追い詰める痛快なストーリーです。



19日(日) 12時・18時30分  
イオンシネマ戸畑  
20日(月) 19時小倉昭和館1

今年も行つて来ました田川市の「川渡り神幸祭」。昨年は余りにも早く着きすぎて、会場の彦山川の川面で寒い中、2時間余り待たされたので、今年は到着時間をシツカリと計画した◆川渡り神幸祭は彦山川を、2基のお神輿と11基の山車が一緒になって渡つて行くものだが、上空にはドローンが飛び交い、先頭のお神輿が川に入り最後の山車が川に入るまで小一時間。その後、山車が一列に並び、山車を前後に上下させる「がぶり」の競演も行われた◆今年も天気が良かった(航)



「水道評議会機関紙「水友」6月2日号より抜粋」